

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		異業種間交流推進					所管	文化産業観光部 産業振興課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	13	計画事業名	異業種間交流支援			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化						
		[小 柱] (1) 中小企業の経営革新支援						
		[施策] ④事業者間ネットワークの促進						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	①過去助成対象企業 ②区内外の中小事業者						
	事業目的	東京都「産業交流展」への出展ブースの提供や中小企業間の情報交換会の開催を通して、さまざまな業種間の連携を図り、企業の経営力強化、製品開発の意欲向上や販路の開拓・拡大に繋げていく。						
	事業内容	①東京都産業交流展の出展ブースを提供し、事業者間の交流促進、販路開拓を支援する。 ②ビジネス交流フェスタを開催する。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	出展企業・団体数(産業交流展)	件	15	15	14	13	
		参加企業・団体数(ビジネス交流フェスタ)	件	100	94	96	68	
	成果指標	産業交流展商談件数	件	50	38	39	70	
		ビジネス交流フェスタ商談件数	件	50	86	64	105	
	決算額 (単位:千円)				994	958	890	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			3,826	4,812	4,820	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			964	958	891	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			30	0	0	
		総経費			4,820	5,770	5,711	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			53	31	0		
	一般財源(区負担額)			4,767	5,739	5,711		
前回評価から改善した事項	中小企業診断士協会と連携し、老舗企業と若手クリエイター・デザイナーが異業種交流する「TAITO SAMBA」を実施した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	民間や都などの支援機関なども新たな交流事業を実施しているが、これらの実施状況にみられるように、同業種のみならず、異業種間の情報交換や商談の機会を望む中小企業は、多い。					
	効率性	3	産業交流展は、安価な出展小間料で比較的多くの来場者がある展示会であり、出展者と来場者また出展者同士の異業種交流の場となっている。ビジネス交流フェスタは、参加企業は60社をコンスタントに超え、参加者には概ね好評である。コストを抑えながら効率的に異業種交流の促進を図っている。					
	手段の適切性	3	産業交流展への出展やビジネス交流フェスタのように、安価で信頼性が高い交流の場の提供は、公的機関だからできる事業である。都や民間の動きに留意しながら、本区の特性に応じた交流の場の提供ができていく。					
	目的達成度	4	商談件数は目標値を超えており、異業種間の交流促進の一助となっている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)								
異業種間の交流の場を必要とする事業者は多く、本事業は一定の成果を上げている。事業者間ネットワークの構築や、異業種間交流から生まれる新産業の創出は、社会経済情勢の変化に対応していくために重要となっている。そのため、区が異業種交流の場を創出していくことは今後も必要と考えられることから、維持とする。								
評価結果	今後の方向性	維持						
						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		